

# カザフスタンの革新 遂に日本初上陸!



# トウファン

# FURAN

ETHNO-FOLK  
ENSEMBLE



2026.

**6/19** 金

7:00PM開演(6:30PM開場)

4,500円(税込/全席指定)

兵庫県立芸術文化センター  
阪急 中ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札ロスグ  
JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター  
後援:在日カザフスタン共和国大使館  
制作:ハーモニーフィールズ



兵庫県立  
芸術文化センター



## PROGRAM

Shabyt (インスピレーション)

Orteke (バベット)

Kara Zhorga (黒馬)/カザフの伝統舞踊

Erturan (エルトゥラン)

ほか カザフスタン伝統音楽

ソーラン節

ご予約・お問合せ

芸術文化センターチケットオフィス

☎ 0798-68-0255

[10:00AM~5:00PM(月曜休 ※祝日の場合翌日)]

一般 3/1  
発売 (日)

芸術文化センター 2/27  
会員先行予約受付開始 (金)

直接購入

芸術文化センター2階総合カウンター  
3/3(火)より、残席がある場合のみ

芸術文化センター ▶ <https://www.gcenter-hyogo.jp>  
チケットびあ ▶ <https://pia.jp/t/>  
イープラス ▶ <https://eplus.jp>  
ローソンチケット ▶ <https://l-tike.com>

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。※プレイガイドでの販売はインターネットのみとさせていただきます。  
取扱いについては、各プレイガイドにお問合せください。  
※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

# こんな音楽聴いたことがない!

果てなき大地のメロディ <sup>リズム</sup> 遊牧の鼓動 <sup>レガシー</sup> 受け継がれる魂

## トゥラン TURAN

ETHNO-FOLK ENSEMBLE

2026. 6/19 金 7:00PM開演(6:30PM開場) 税込/全席指定 4,500円  
兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

かつて、大地と人は共に生きていた。「TURAN (トゥラン)」の音楽は、全身にその記憶を呼び起こす。中央アジア諸国の中で広大な領地を誇るカザフスタンで生まれた若者5人による民族音楽のアンサンブル。グループ名は、古代ペルシア帝国北東部の砂漠地帯に由来し、「共通のルーツを持つ人々がつながる場所」という意味が込められている。

彼らが身体の一部のように操るカザフの民族楽器で奏でられる音色と、一人で二つ以上の音色を同時に出す伝統歌唱「ホーミー」による世にも不思議なメロディに、いつしか心も体もエネルギーに満たされるはず。誇り高き遊牧民の伝統の響きと現代的サウンドが融合する国境なき音楽の世界を是非お楽しみください。

### オルテケ

Orteke

ドンブラの演奏と木製の山羊の人形による踊りを組み合わせたもの



### トゥヤクタス

Tuyaktas

カザフ民族の古代から伝わる打楽器



### クンタイアク

Kuntayak

トゥランが新しく導入したタイプの騒音系打楽器



### コブズ、ナルコブズ

Kobyz, Narkobyz

テュルク系民族に共通する二本の弦から成る弓形の楽器



### サズスルナイ

Sazsynnai

カザフ民族の管楽器に属する楽器で、粘土や陶器で作られる



### ダンギラ

Dangyra

カザフ文化における膜鳴楽器



### ドンブラ

Dombra

洋ナン状のボディに、長細いネックを持つ二弦擦弦楽器



セリク・ヌルモルダ  
SERIK NURMOLDA

パウイルジャン・ベクムハンベト  
BAUYRZHAN BEKMUKHANBET

マクサト・メデウベク  
MAKSAT MEDEUBEK

ジャントゥ・ダダバエフ  
ZHANTU DADABAYEV

イエルジギット・アリエフ  
YERZHIGIT ALIYEV

## トゥラン TURAN

2008年にカザフスタンで結成された民族音楽アンサンブル。グループ名の「TURAN (トゥラン)」は、古代より中央アジア一帯のトルコ系民族が暮らしてきた地名に由来し、「共通のルーツを持つ人々がつながる場所」という意味を持つ。彼らの音楽には、草原を渡る風の音、馬の鼓動、遊牧民の祈りが息づいており、過去と未来、伝統と革新をつなぐ「音の架け橋」として知られている。

メンバーはカザフ国立芸術大学の出身者で、民族楽器の演奏家・研究者としても高く評価されている。演奏には、ドンブラ、コブズ、ジエティゲン、シプスギなど数十種におよぶ伝統楽器を使用し、旋律とリズムだけで自然の情景や精神世界を描き出す。舞台上では民族衣装をまとい、楽器の歴史や物語を語りながら演奏する「講義コンサート」

形式も特徴的で、聴衆に深い文化的体験をもたらす。

これまでに「Turan」(2009)、「Er Turan」(2011)、「Uly Turan」(2017)、「Folk & Symphony」(2021)、「Tamyrl」(2024)などのアルバムを発表。特に「Folk & Symphony」ではオーケストラとの融合に挑み、遊牧文化のスピリットを壮大な音世界へと昇華させた。

ニューヨーク・カーネギーホール、ワシントン・ケネディセンター、ベルリン・コンツェルトハウスなど世界各地で公演を行い、これまでに122都市で3000回を超えるステージを重ねている。トルコ語圏の文化を代表する「トゥルク世界文化遺産アンバサダー (Ambassadors of Turkic Culture)」の称号を授与され、カザフスタンをはじめとする中央アジアの音楽文化の象徴的存在となっている。

TURANの音楽は、単なる民族芸術ではなく、「魂の記憶」として受け継がれる遊牧民の心そのもの。古代と現代を結ぶ音の旅へ、聴く者を誘う。